

政策番号	10	政策分野	農林業
------	----	------	-----

基本方針	高齢化や後継者不足，農地や森林の荒廃進行に対処するため，職業として魅力ある農林業を再構築し，その魅力を発信することによりさまざまな担い手を確保する。 また，農林業のもつ多面的機能の維持と発揮により，資源循環型産業として社会や環境に貢献するとともに，市民の農林業に対する期待にこたえるため，市民の農林業への参画や農林業を通じた自然とのふれあいの機会を創出していく。
------	--

担当局	産業観光局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関係する 主な分野別計画等	京都市農林行政基本方針
---------------------	-------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		平成23 評価値	令和2 目標値	平成 30	令和 元	令和2年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	農業粗生産額(百万円)	14,834	18,000	a	a	15,947	13,649	17,873	76.4%	b
2	林業粗生産額(百万円)	775	950	b	b	674	740	929	79.7%	b
				a	a					b

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	平成30	令和元	令和2
1001	産業として魅力ある農林業の構築と担い手の育成(2指標)	b	b	b
1002	環境や社会に貢献できる農林業の育成(2指標)	a	a	a
1003	市民との共汗で築く農林業(1指標)	b	b	b
(3施策平均)		a	a	a

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価: 施策の客観指標評価=1:0.5)	平成30	令和元	令和2
	a	a	a

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		平成30	令和元	令和2※
1	京都の農林業が魅力を増し，後継者や新たな担い手が育っている。	d	d	-
2	京都の農林業は，環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して，地域社会に役立っている。	c	c	-
3	市民農園や森林を守る運動，学校の体験学習などにより，京都の農林業が身近になってきている。	d	d	-
政策の市民生活実感調査総合評価		d	d	-

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

平成30年度		令和元年度		令和2年度※	
順位	%	順位	%	順位	%
24	75.2%	24	70.5%	-	-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	B	令和元	B	令和2	B	政策の目的がかなり達成されている
------	---	-----	---	-----	---	------------------

＜原因分析＞

【客観指標総合評価】

- ☒ b 評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c 評価以下であり、次の原因が考えられる。

【市民生活実感調査総合評価】

- ☐ b 評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☒ c 評価以下であり、次の原因が考えられる。
 ・農林業従事者に対する支援施策が主となる政策であり、農林業に従事していない多数の市民は施策の達成度を実感し難いため、c 評価以下で推移していると考えられる。

【総括】

・市民生活において施策の達成度が実感し難い政策であるため、市民生活実感調査の低評価が続いている。一方で、客観指標については、「農業粗生産額」が減少しているものの、引き続き高い評価結果を示しており、総合的に判断して、当該政策の目標は、かなりの程度達成していると評価できる。

今後の方向性の検討

＜この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価＋市民生活実感評価)＞

施策番号	施策名	総合評価		
		平成30	令和元	令和2
1001	産業として魅力ある農林業の構築と担い手の育成	C	C	C
1002	環境や社会に貢献できる農林業の育成	B	B	B
1003	市民との共汗で築く農林業	C	C	C

＜今後の方向性＞

①産業として魅力ある農林業の構築と担い手の育成

・作業効率の向上及び収益性の高い品目への転換等を支援することにより、農林業経営の安定化を図るとともに、労働環境の向上や資金的支援を行い、多様な担い手の育成に取り組む。
 ・農商工連携や産学公連携を進め、6次産業化に向けた取組や京都ならではの新商品の開発を支援し、高付加価値な農林水産物の生産を推進する。
 ・市民に市内産の農林水産物に関する情報を発信することなどにより、生産者と市民が互いに顔の見える関係を構築することで、販路拡大を図る。
 ・今年度、次期京都市農林行政基本方針の策定を予定しており、その中で「生産性・収益性の更なる向上」や「他産業との連携による新たなビジネス創出」など、産業として持続可能な農林業の在り方について、検討していく。

②環境や社会に貢献できる農林業の育成

・水源涵養機能、二酸化炭素吸収源、環境負荷抑制効果など、農林業が持つ多面的機能を市民に伝えとともに、農業用水路に治水機能を付加し、雨に強いまちづくりを推進する。
 ・地域特産物の育成を通じて、農山村の活性化や新たな収入源の確保につなげていく。
 ・食文化や景観といった、本市の魅力を支える産業としての農林業の重要性について、広く発信していく。
 ・近年の大型台風による集中豪雨やゲリラ豪雨等の増加に対して、適正な森林整備が山林の災害を防ぐ効果があることを広く発信していく。

③市民との共汗で築く農林業

・市民・児童が農業と触れ合える機会の提供やモデルフォレスト運動の推進を通じて、農林業に市民の力を活かす取組を継続していくとともに、市民への情報発信を強化することにより、市民生活においても施策の達成度が実感できるよう取り組む。

政策名	10	農林業
-----	----	-----

指標名	農業粗生産額（百万円）		
-----	-------------	--	--

担当部室	農林振興室	連絡先	2 2 2－3 3 5 1
------	-------	-----	---------------

1 指標の説明

市内農業によって得られた年間の粗生産額

2 指標の意味

産業として魅力があり、環境や社会に貢献するとともに、市民参画が推進された農林業の構築状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後(令和2年度)の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠
	14,834	18,000	京都市農林行政基本方針の令和元年度目標値を準用

	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年	推移	数値	単年度目標値 根拠	達成度
数値	15,947	13,649	2,298百万円減	17,873	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成19年度現況値（16,474百万円）と京都市農林行政基本方針の目標数値（令和元年度18,000百万円）から各年度の目標数値を等差的に算出	76.4%

	全国順位	中長期目標			備考	算定に用いるデータの収集期間の関係から、平成30年度値が最新となる。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	18,000	令和元年度	75.8%			京都市農林行政基本方針

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

当該指標については、社会経済情勢及び自然環境条件の影響度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	a	b

指標名	林業粗生産額（百万円）		
-----	-------------	--	--

担当部室	農林振興室	連絡先	2 2 2－3 3 5 1
------	-------	-----	---------------

1 指標の説明

市内林業によって得られた年間の粗生産額

2 指標の意味

産業として魅力があり、環境や社会に貢献するとともに、市民参画が推進された農林業の構築状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後(令和2年度)の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠
	775	950	京都市農林行政基本方針の令和元年度目標値を準用

	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	数値	単年度目標値 根拠	達成度
数値	674	740	66百万円増	929	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成19年度現況値（707百万円）と京都市農林行政基本方針の目標数値（令和元年度950百万円）から各年度の目標数値を等差的に算出	79.7%

	全国順位	中長期目標			備考	算定に用いるデータの収集期間の関係から、平成30年度値が最新となる。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	950	令和元年度	77.9%			京都市農林行政基本方針

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

当該指標については、社会経済情勢及び自然環境条件の影響度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
b	b	b